

広土会新聞

第14号

2010.3.1 発行

発行所 広島工業大学 広土会
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2丁目1-1
TEL 082-921-3121

巻頭言



広土会会長
島 重章

昨今の社会情勢は大きく変化してまいりました。広島工業大学におきましても10階建ての新講義棟が旧野球場グラウンドの上に建設され、全学科の全授業がその新校舎で行われるようになりました。平成22年4月からスタートします都市デザイン工学科開設記念講演会を、昨年9月にその建物の中心部にあります大ホール（600名収容）において開催いたしました。「都市と風景のデザインとは」というタイトルで、広島平和大橋の新デザインに関与されていた早稲田大学の佐々木葉先生をお迎えして、学生や社会人を対象に都市デザインの大切さを語っていただきました。コンクリートから人への社会風潮の中で、私たちの快適な暮らしを推進していくためのシビックアーチストの創設と、さらなる社会基盤の重要性を示唆いただき、新学科の開設に向けて心強い思いを抱きましたのはご同慶の至りであります。

我が国の構造は、近年特に少子高齢化が進行し、医療、福祉、教育、文化などのいろいろなファクターの必要性が叫ばれています。それらの機能を動かすためには、インフラ整備が充分でなければなりません。その中には、これまで整備さ

れてきたインフラの維持管理の重要性も忘れてしまっては、取り返しのつかないことになるのであります。環境問題を含めたインフラへの取組は、近年特に持続型、再生型への技術を要求されています。最近の建設系の雑誌から項目を掲げると「公共事業と財政のバランス」、「持続可能な環境型エネルギーの再生」、「自然再生と環境保全」、「福祉のまちづくりと生活」、「災害と社会基盤整備」等である。このようなことに取り組むことのできる技術力がこれからも益々求められると考えられます。

大学における教育研究も、新たな方向性を出すための大きな検討課題として新学科への改組という形で取り組んできました。土木技術のための教育は、これまでにハード面を主体とする社会に通用する人材の育成として、力学教育を中心に行われてきたように思われます。しかしながら、社会の情勢は情報化が進み、環境問題への取組、デザインの必要性、災害への対応など、ソフト面の必要性が要求されています。これまでのハード面および新たなソフト面を兼ね備えた人材教育の必要性が期待されているところです。この両面を兼ね備えるには、ハード面は理論的思考を、ソフト面は感性的思考を要求されます。ものづくりの技術がさらに優れたものになるためには、技術力の伴ったハード面とソフト面の充実が必要であると考えられます。そのために

も、大学教育の中で取り組む要素は、デザイン力の感性を兼ね備えた広い視野に展開できる卒業生の排出が考えられます。地域に求められる土木技術は、機能が優れた技術であり、デザイン力が優れたものづくりが受け入れられるであります。

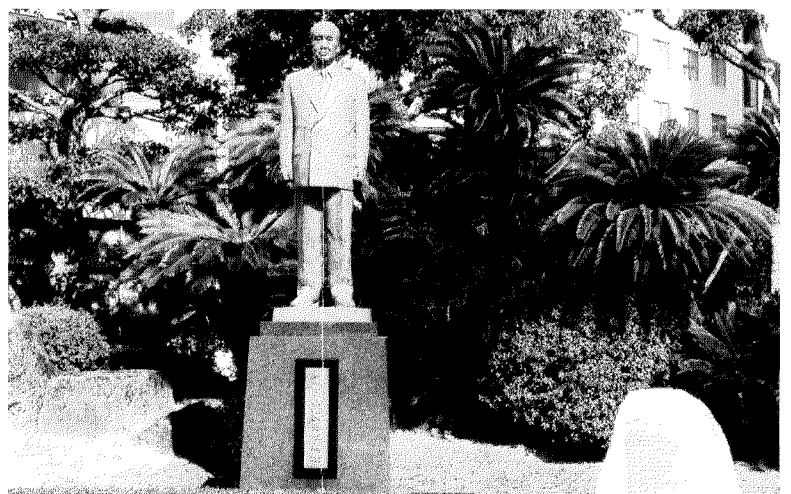
平成22年4月からスタートします都市デザイン工学科は、これまでの土木工学科、建設工学科、都市建設工学科の流れを中心においてハード面とソフト面の両立を学び、社会が要求する人材の育成に取り組んでまいります。そのためには理系、文系の枠を払った多様な能力を備えた入学生の受け入れを行っていきます。これからの大学教育は、地域や卒業生と一体となった授業展開が必要です。本学科へ入学してくる学生たちは漠然と大学に進むことを考えているでしょうが、具体的に現場の様子を知ることにより、さらに親近感から将来の魅力を感じ得る機会を与えてやる必要があると考えています。会員諸氏のこれまで培われてきた技術力を、技術者教育の魅力作りをしたいと考えておりますので、益々のご協力をお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様方の益々のご健勝とご発展を心から祈念し、巻頭のご挨拶といたします。

今年もよろしくお願いいたします。



正門からの新校舎



鶴 裏名啓総長銅像

退任のあいさつ



退任の挨拶

米倉 宙州夫

私は平成11年4月1日付で広島大学から広島工業大学に赴任し、今まで11年間お世話になりました。専門はコンクリートおよび鉄筋コンクリート工学です。広島大学時代は広島市内から東広島市の大学まで通勤するのに、1時間半を要していましたが、広工大には車で30分程度で大変楽になりました。

鉄筋コンクリート等の授業では、体験に基づく話をしてよく脱線するので、また始まったという顔をされました。特に、私の家のコンクリートの打設や養生の話は、「耳にたこ」で、知らない人は私の授業を受講していないとまで言われました。卒業論文の研究では、伊藤秀敏先生と一緒にさせていただき、多くの卒論生が米倉・伊藤ゼミに来てくれました。お陰で種々のコンクリートに関する研究をすることができました。また、廃ゴム乾留炭化物を舗装用アスファルト混合物に用いる研究では、舗装各社、ゴム会社、広島市と共同研究を行い、試験施工を各官庁で行ってもらいました。中でも広工大出身者の広島市の石田洋一氏、鹿島道路の横引氏は研究会のリーダー的役割を果たして頂いています。約3年間就職担当教員をさせていただきましたが、広工大出身で各方面で活躍されている方々が求人に来てくださいました。今まで多くの学生を採用して頂いた会社の方々が多く、頼りになる存在で有難く思いました。就職して1～3年の若い人も、上役の人と一緒によく来てくれ、就職希望学生にアドバイスをしてくれました。

以上、広島工業大学では、この11年間楽しい、有意義な教育・研究生活をすごさせていただき、多くの卒業生の方々と知り合いになれて感謝申し上げます。これからもよろしくお願い申し上げます。



もうそろそろ

伊藤 秀敏

広土会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、平成21年度で、広島工業大学を一身上の都合により、退職することになりました。在職中は、暖かいご支援を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

退職後は、高齢の両親の看病を中心に、許せる領域で趣味の山登り、釣り、旅行の他、できれば、小中学生を対象としたエコツーリズムやスロツーリズムを通して理科に関心をいただけるボランティアができれば望外の幸せと考えております。

今後とも、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

在学生だより



広島市郊外の住宅団地における住民の交通に関する意識の調査研究

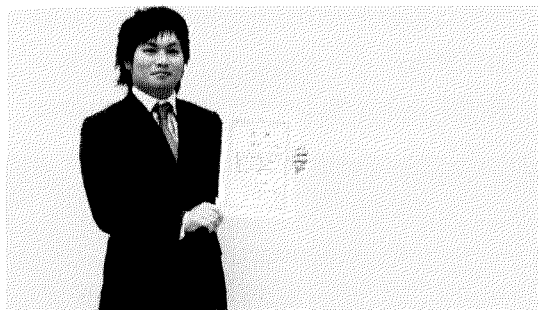
広島工業大学大学院 工学系研究科
博士前期課程 建設工学専攻
M150813 渡部 昂

近年、都市周辺に立地する郊外型の開発住宅団地では、人口流失や高齢化に伴う商業センターの撤退等による商業機能の消失がみられ、買い物等の交通利便性が低下している。このような住宅団地は近隣住区論に基づいて造られているものが多く、上記の様な社会変化によって、徒歩で完結しない構造に変化しつつある。特に、斜面地開発による住宅団地では、元々自転車の利用が困難な場合が多く、高齢化も進み、バス等の公共交通機関が存在していても、バス停までの徒歩が困難になる可能性がある。このため、斜面地開発住宅団地の交通利便性は、団地内のバス停からの立地条件や、住民の自家用車や自動車免許の有無等によって、平地の住宅団地以上に、差が生じている可能性がある。

そこで、本研究では典型的な斜面住宅団地である美鈴が丘住宅団地をケーススタディーとして調査研究を行った。今後、高齢化がさらに進行することにより自動車の利用が困難になり、普段の生活環境が大きく変わる可能性があるなど交通上の問題点が多い。

先行研究として、当研究室では美鈴が丘住宅団地でのアンケート調査を行い、住民の交通の実態・意識を調査し、その単純集計から斜面住宅団地の交通に関する意識の現状の把握を行った。本研究ではそのアンケート調査結果を元に、非集計モデルを用いた回帰分析を行い、住民の交通意識構造の把握を目指した。これにより単純集計では分かりにくかった、住宅団地内における種々の個別の事象を明らかにし、斜面住宅団地の問題点・改善点を明確化する事を目的とした。

まとめとして本研究では、アンケート調査における住民の意識構造を明確化することで、住民の交通意識や住民の望む団地内交通像が明らかとなり、郊外地域における住宅団地において地域住民の交通ニーズを示すことができた。この結果を踏まえ、団地内で巡回バスを運行するにあたって住民の望む必要条件を知り、条件を確保することが可能となった。研究前まではアンケート調査によって住民の交通の実態・意識は調査できていたが、今回アンケート調査の回帰分析を行なったことで、先行研究のアンケート調査結果の予想を裏付ける結果が得られたことは非常に大きな成果になったと考える。今後の課題としては、地方自治体も含めて地域の交通利便性向上を目的とした長期的かつ協働の取り組みが重要と考えられる。



土木学会全国大会で優秀講演者表彰受賞



ミニオープンキャンパス (学科展)開催報告

都市建設工学科
小田 雄司

開催日：2009年10月10日(土)・11日(日) 各13:00～17:00

開催場所：広島工業大学 三宅の森Nexus 21 902教室

学科展の広報

- ・教員による高校訪問を開催前に行い、学科広報誌と作成したポストカードを合わせて持っていき宣伝。
- ・在学生の母校へ電話で事前に宣伝の依頼をし、郵送したポストカードを配布してもらった。
- ・学祭パンフレットに学科紹介を記載。
- ・当日、ポストカードを学内で手渡し学科展をアピール。

展示内容

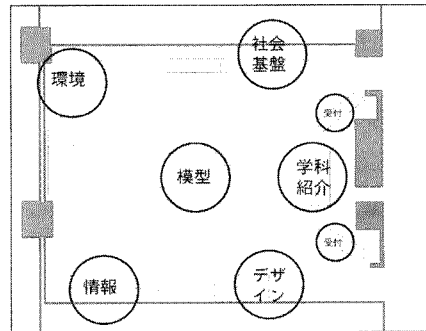


図1 902教室の配置図

- ・出入口近くに学科の紹介パネルを設置して来場者にパンフレットとアンケートを配布。
- ・中心に空間創造設計と衛星情報デザインの講義で制作した五日市エリアの模型と海外の橋梁の紹介パネルを展示。
- ・都市デザインの4つの分野をそれぞれまとめ、上図のように壁沿いにパネルなどを展示。
- ・出店研究室は環境分野：上嶋研究室、島研究室、二神研究室

社会基盤分野：中山研究室、皆田研究室、
米倉・伊藤研究室

情報分野：大東研究室、三好研究室

デザイン分野：今川研究室、青山研究室、
樋口研究室

以上の11研究室



図2 学科紹介ブース



図3 学科展の様子①

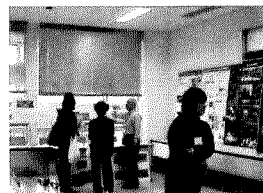


図4 学科展の様子②



図5 学科展の様子③

◆図2について

学科の説明(就職状況など)をパネル形式で展示
両側の出入口付近に受付を設け、学科広報誌やアンケートなどを配布し展示を見終わったらなるべく書いていた



大地と大海が私たちのフィールドです

AOKI

総合建設業

① 株式会社 青木組

代表取締役 瀬尾 政彦

本社 〒722-0035 広島県尾道市土堂二丁目8番14号(青木ビル)

TEL(0848)23-3131(代). FAX(0848)22-8371

東京本店 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町三丁目四番二号

KDX茅場町ビル

TEL(03)3665-9621(代). FAX(03)3665-9622

営業所 広島・川崎

総合建設業



占部建設工業株式会社

代表取締役 占部 誠

本社 〒720-0816 福山市地吹町18番16号

TEL(084)922-1254 FAX(084)922-1276

広島支店 〒738-0004 廿日市市桜尾二丁目8番3号

TEL(0829)32-1224 FAX(0829)32-8779

井原営業所 〒715-0022 井原市下出部町二丁目22番4号

TEL(0866)67-1300 FAX(0866)67-1215

広島営業所 〒731-5135 広島市佐伯区海老園4-4-44

TEL(082)921-2617 FAX(082)921-5443



株式会社 神崎組

取締役社長 神崎 文一郎

本社 姫路市北条口三丁目22番地

TEL 姫路(079)223-2021(代表)

FAX 姫路(079)281-8191

支店 大阪・神戸

くようにした

◆図3について

環境分野の島研究室と、情報分野の大東研究室の展示

◆図4について

環境分野の展示スペースで、写真右側は上嶋研究室の展示。瀬戸内海研究フォーラム in 大阪ポスターセッションにおいて最優秀賞を頂いた作品を展示してありました

◆図5について

中央に展示した五日市の模型、展示した教室からも制作した模型のエリアを眺めることができたため多くの方が注目して下さいました。この模型は建物の階数をスチレンボードの高さで表わすことで、まちのボリューム感をわかりやすくしたもので、「これは面白い」という意見を多くの来場者の方から頂きました。また、橋梁のパネル展示や、学科広報誌の学生のインタビューも展示。

オープンキャンパス時のときのように、日平均来場者100人とまではいかなかったものの、多くの方が学科展を見に来てくださった。大学近隣の方や、広島市内の高校生も来ており、都市デザイン工学科を知ってもらいたい機会となった。特に高校生に対しては、この機会を通じて都市デザイン工学科入学のきっかけとなって貰えればと願っている。

支 部 だ よ り



感動した出来事

関西支部長

佐賀 勉（2期生）

会員の皆様におかれましては日頃大変御世話になっております。この紙面をおかりしてお礼申し上げます。日本では、政権交代でコンクリートより人へという政策で、世の中を変ようとしておりますが、次の選挙のためのみと感じがいません。町には経済政策の遅れで、失業者、新卒者の就職問題、現政権は、将来に大きな負の遺産を残す政権でしょう。政治問題はさておき、2月7日(日)長崎県上五島町において【自然エネルギーと地域づくり】というシンポジウムに参加いたしました。シンポジウムを計画したのはNPO法人風土計画の豊田玲子氏でした。若感30代の才女です。講演の講師は足利工業大学の牛山泉学長で、日本における自然エネルギーのパイオニア【風車博士】と有名で、NHK番組プロジェクトXにも登場された先生でした。

牛山先生のお話は現在の地球環境問題の状況をふまえ再生可能エネルギー風のエネルギー、太陽エネルギー、バイオマスエネルギー、水力。海洋エネルギーが今後将来に向けて化石燃料に変わる代替を勇気ある未来を見つめて行動したいという話に私自身非常に感銘と感動を受けました。エネルギーも狩猟型文明（化石燃料）だった時代より栽培型文明に転換し農業政策と同じ持続可能な社会を作るアメリカ社会はすでに、持続可能な風力発電に国力を注ぎ大規模な代替エネルギー建設に未来に向けて勇気ある挑戦を始めており、中国でも同じうねりがおこっております。地球環境時代の生き方として命：尊重 自然：人間は自然の一員 人生観：利他主義 持続性：持毒可能エネルギー 経済：脱経済主義 欲望：知足と非暴力（平和）このような考え方が出来る。

とかく我々の判断基準は過去の経験則で物事を判断しま

すが、先生のお話では将来のこと予測しながら、自分たちの孫子のことを、思い判断することも、とても大事であるとのことでした。我々は日々の生活に追われ生活しているのですが、牛山先生のお話で少し人生観がかわったような気がします。

この話を熱いうちに誰かに伝えなければと、2月15日(月)広島にて2期生の親友でもあります、東洋建設執行役員中国支店長平谷氏に話したら、若いころ上五島の有川港建設、石油備蓄基地の建設にかかわったこと懐かしく酒の席で語りました。混迷の世ではありますが、広島の町を心に留め会員それぞれ若く（気持ち）もち元気で活躍されることを切望いたします。



最近思うこと

広島支部長

森川 泰雄（7期生）

私は、公共事業に携わって35年が過ぎようとしています。公共事業を取り巻く環境が年々厳しさを増してきている現状を踏まえ、最近思うことを述べたいと思います。

平成21年度は、公共事業に携わってきたものにとって、時代を画する年になるかもしれません。

9月の歴史的政権交代で発足した鳩山内閣は「コンクリートから人へ」の理念に立って、過去の景気対策において行なわれてきた公共事業に偏重した予算の使い方を根底から見直し、今後の公共事業を4年間で1.3兆円減らす方針とされています。

代表的な事例が大型公共事業の中止である。とりわけ「ダム事業の見直し：できるだけダムにたよらない治水対策」は、今までの治水対策の考え方を換えようとするものであり、長年、河川事業に携わってきた私にとっては大変ショックな出来事となった。

このような時代背景や少子高齢化が更に進み成熟社会に向かいつつあるわが国において、国土や県土の建設に携わる我々技術者は、どのような対応が必要になってくるのでしょうか。それは、当たり前ですが、今の限りある予算を使って事業効果を何倍にも高めて行く計画を考える事ではないでしょうか。量から質への転換かもしれません。

広土会の会員の皆様も、大学を卒業されて、何らかの形で土木事業に携われている方がたくさんおられると思いますが、我が広土会の会員には、この逆境を乗り越える十分な資質があると確信しており、これからも情報交換を行ないながら、しっかり足元を見据え、頑張っていければと思っています。

最後になりますが、広土会の益々の発展と会員の皆様方により一層のご活躍をお祈りいたします。



「長い旅路の終わり… また始まりか～」

広島西支部

石田 洋一（4期生）

本年3月末日を以て38年間過ごした公務員人生が終わりを告げるが、昨今では何となく平凡で単調で不規則でも無くそれなりの毎日過ごしている。今日も刻刻に帰宅し風

呂から出て夕食のおかずを掴みに500mLの発泡酒を2本空けると、丁度身体はほろ酔い気分を抱かれ、炬燵に潜り虚ろな眼差しでテレビ観戦していると、徐々に脳内に空虚感が広がり無の中に嵌り込んでいく。でも今日は何か違う感じがした、空虚感が始まり無の世界へ入る瞬間、突然目の前に広大なサバンナが現れ、そこで獐猛な面構えと凶暴さを秘めた眼差しの1頭のハイエナの存在を見た、周囲にぬかりなく注意を払い、躍動感溢れ縦横無尽に駆けていたが、ふっとこちらを振り向き目線が合った瞬間、視界から消えたよく見渡してみるとサバンナの一部が揺れている、視線を向けると片足にワイヤーが掛り必死に翼のワイヤーを喰い千切らんと暴れ廻っているハイエナの姿があった。「う～ん」と唸声を漏らした瞬間、そこには大声を出し賑々しく所構わず走り回る無邪気な子供達の姿が有り動物園らしき風景が飛び込んだ。何か視線を感じ振り向いて迎りを見渡すと目の前の広々とした檻の中で、あの時のハイエナが奇妙に温厚な眼差しで見つめていた、丁度食事の時間が飼育員が投げ入れた肉塊を、全くの無防備で緩慢な動作で喰っていた。何か別の生き物を視るような錯覚に包まれた、あの獐猛さ、躍動感、壮観さは…「は～あ～」…と深いため息が出た瞬間。「ここで寝ない！自分の部屋の布団で寝るのー」、けたたましい雄叫びが、我が家の百獣の女王の有無を言わさない脅圧的な命令調が耳元で木霊した。炬燵からのろのろと立ち上がり部屋に戻り煙草を一服した時、「あのハイエナ、死ぬまであのような生活するか…いいな～」と呟きが漏れ「あれは生涯公務員の待遇かな～」と一種の皮肉が、妬みか変な感情が湧き「俺は年老いて動物園みたいな所からサバンナへ向かうのか～」、自虐的発想と強い恐怖感に迎えられ、今日も、また無の世界に溶け込んでいった。



近況報告

県東部支部

後迫 浩司（18期生）

私は、昭和61年に広島工業大学の土木工学科を卒業し、奈良県に本社のある村本建設株式会社に勤務しました。赴任先は東京支店で、一番最初の現場が、千葉県浦安市のディズニーランドとなりの広大な埋立て造成地でした。毎日、毎夜決まった時刻にディズニーランドのお城から上がる花火の音と光を感じながら、わびしく照明が落ちるまで残業をやったものでした。その後5年間、関東や東北を転々と現場を回り、2年間設計業務をやってきました。ちょうどその頃、バブルがはじけ、あおりを受けた会社が七千数百億円もの負債を抱え傾きかけたのを期に、実家のある福山市新市町に帰ってきました。7年間若い時期に外勤した事が、今の私にとって大きな力となっています。仕事は非常に大変でしたが、見聞を掛けられた事、人との接し方、また努力する事、耐えしのぐ事、等々です。若い方々は、機会があれば外に出てみてください。

現在は、実家の近所に住み、実家の小さな建設会社を兄と共に営んでいます。経営状況は火の車です。新市町が福山市と合併し、公共工事の入札も電子入札となり、一物件に100社近くの出札があるという信がたい状況で、なかなか落札が出来ていません。毎回神頼みはしているのですが…！ そんな中、広工大O日の方々より協力を受けながら、やっています。今この時期、工期の迫った現場と検査書類の山をかかえ、「ヒューヒュー」といいながらも何とか頑張

心の映像カタチにします
建設クリエイター

総合建設業

株式会社 栗本

代表取締役社長 古川 幸雄
〒733-0035
広島市西区南観音7丁目14番20号
TEL (082) 293-8500
FAX (082) 295-8231
【支店】安芸高田市
【営業所】岩国市
<http://www.kurimoto-gr.co.jp>

総合建設業 ISO 9001 認証取得

LANDING

山陽工業株式会社
SANYO CONSTRUCTION CO. LTD.

広島市中区十日市町1丁目1-9 〒730-0805
TEL (082) 232-6471 FAX (082) 291-2233
<http://www.landingsanyo.co.jp/>

明るく伸びる

株式会社 伏光組

代表取締役 伏見 幸彦

本社 〒734-0013 広島市南区出島1丁目33-61 TEL (082) 253-6161
FAX (082) 254-4581
支店 松江 営業所 三次・安芸高田・世羅・益田・東広島

っています。

私生活では、子どもを三人授かり、上の子が大学受験、次の子が高校受験にと家庭内はとてむりむりとしています。子ども達を見ていると、これからが金銭的に大変だな〜と感じ、「まだまだ頑張らんといいけん」と改めて思うところです。

1月に健康診断で引っかかり、大腸ポリープを7個摘出しました。悪性ではなかったのですが、今回は身にしみて健康の大切さを実感しました。皆様方も、仕事は大変でしょうが、お体に十分ご配慮され、ご活躍されることを祈念しまして、近況報告といたします。



「**広土会島根県支部 近況報告**」

島根支部長

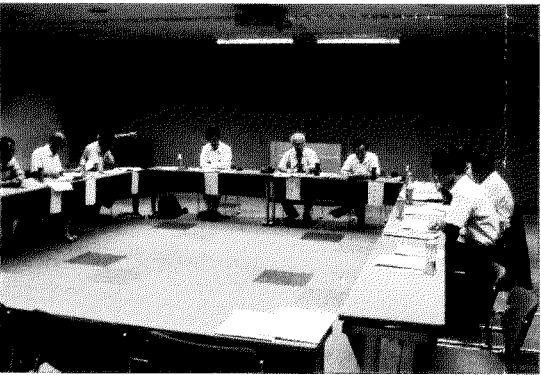
福田 滋（6期生）

島根県支部の創成期は、明確ではありませんが昭和五十年代前半であったと思います。就労の場の少ない山陰では公務員が最大の受け皿であったことから、当初は広土会会員も公務員が中心でありました。その後次第に民間で働く同窓生にも輪を広げ、今では百名を越える数となり、活動の歴史も三十有余年となりました。

その中でも、昨年は特筆すべき年でありました。それは、第18回支部長会議を、島根の地で開催していただいたことでもあります。開催地は前年度の支部長会議において決定されますが、十一支部ある中で大半が会議招致を終えており、必然的に島根に決まった次第であります。開催日についても同時に決定されましたので、当支部では4月初旬に会場を予約し、5月末に支部役員会を開き、打ち合わせを行いました。

支部長会議は、島会長・大東副会長・村中会計幹事のご臨席の下、会長の挨拶に引き続き、事業計画や会則の改正等について審議され、その後各支部からの報告が行われました。懇親会には、恒例により島根県支部会員（二十八名）も参加させていただき、盛会のうちに閉じることが出来ました。島会長をはじめ役員の皆様、遠路参加いただいた各支部長の皆様には、この紙面をお借りして改めて感謝申し上げます。

さて、昨年は政権交代があり公共事業に対するスタンスが「コンクリートから人へ」大きく変化したところであります。国の公共事業予算は昭和五十三年以来三十二年ぶりに六兆円を下回る水準で、「ダムに頼らない治水」「道路は原則新規事業の凍結」「土地改良事業の半減」等が掲げられました。一方では「国から地方へ」の旗の下「地方裁量の



支部長会議 審議状況

大きい新交付金創設」「直轄負担金の廃止」も実施されることとなっております。

地方で生活する我々も、これを機会に従来の取り組みを見直し、限られた財源の中で次世代に向けた社会資本整備をどう構築するのか、地域の進むべき道を模索して行かなければなりません。

そのためには、より多くの意見を反映し広い視野に立ったものとする必要がありますが、支部会員との交流は、有益な情報源となり大きなヒントを得る機会ではないかと思っています。多くの会員が刺激を受け合い、それぞれの生業に生かすことによって地域の活性化に繋がれば幸いです。同窓生が集うことは、それだけで心とほむものでありますが、このような観点からも、今後とも支部会員相互の親睦を深めて参りたいと思っています。

母校ならびに広土会の一層の発展と、会員各位の益々のご活躍を願いつつ、近況報告といたします。



**広土大愛媛県支部総会に
出席して思うこと**

愛媛支部

黒田 茂喜（2期生）

平成21年11月28日(土)松山国際ホテルにて18名の出席者、但し田坂支部長は新型インフルエンザに感染し支部長不在の中で、愛媛県広土会支部総会が盛大に開催されました。

又大学からは島教授が、私たち愛媛県広土会支部出席のため松山までおいで頂き大学の現況等のおはなしをして頂きました。

島教授のお話で特に印象に残ったのは、昨今非常に厳しい就職戦線の中、今期土木の卒業生の就職がすべて決定しているとのこと、これもひとえに卒業生が各方面でがんばっておられるからとの事を言われ、私たち広工大土木の卒業生としても誇りに思えた次第です。

その後各自出席者から現況報告が有り、役所に勤められている人は政権交代で民主党政権になった為、来年度予算がどうなるかさっぱりわからない、又民間に勤められている方は、これ以上の公共工事の減額にはとても会社が成り立たないのでは先行き暗い話ばかりでした。

特に若い人は此の業界の先行きに不安を感じている様子が伺えました。

明るい話は、六期生の中下元夫君が4月25日選挙の松山市議会選挙に出馬されます、是非応援よろしく願いします。

このような会に、中堅若手の人がもう少し多く出席され、情報交換や人脉作りの為にも多くの人の出席を望みます。

原稿を書いている内、40年前の事が懐かしく思い出され少し書いてみます。

就職のため広島から寝台特急に乗り浦和の寮に行くと、全国各地から私と同様な土木技術者の卵が集まっていて、全員が目を見つめて1日も早く一任前の土木技術者になるため技術の習得のため講習を受けました。

一ヶ月の講習を終え全員が、全国の現場等に配置されました。

私はたまたま関東の現場に配置されました。

その当時は早朝より夜遅くまで、休みも無く働かされ、宿舎といえばプレハブの質素な宿舎で、又年間に3回ほど転動で関東各地を転々となりました。

3年もすれば、同期入社の内、半分近くが会社を辞めて

いました。

ただ仕事は田中角栄元首相の日本列島改造論でいくらでも有り、仕事の環境は最悪でしたが、工事を完成させた時の充実感が何ともいえず、それが活力になり又頑張ろうと気持ちにさせられました。

入社当時の事を今思いますと、現在の私たちの業界の現況は考えもつきません。

現在の日本の経済も、私たち土木技術者の技術があつてこそ日本の経済の成長があるものだと思信しています。

今後この業界も、ますます厳しい時代が続きますが、鳩山首相が所信表明でのべられているよう、国民の命を守るため日本の安全安心を守るため私たち土木技術者の技術が必要です。

私たちは二期生ということで先輩が少なく寂しい思いをしましたが、若い人は先輩がたくさん身近におられると思いますので、何でも相談して技術者としての誇りを持ち、今後活躍されることを期待します。

最後に二期生の皆さん元気ですか、ほとんどの方が第二の人生を送られていると思いますが、健康には充分留意され有意義な第二の人生を送ってください。

機会があれば会いたいものです。

事務局だより

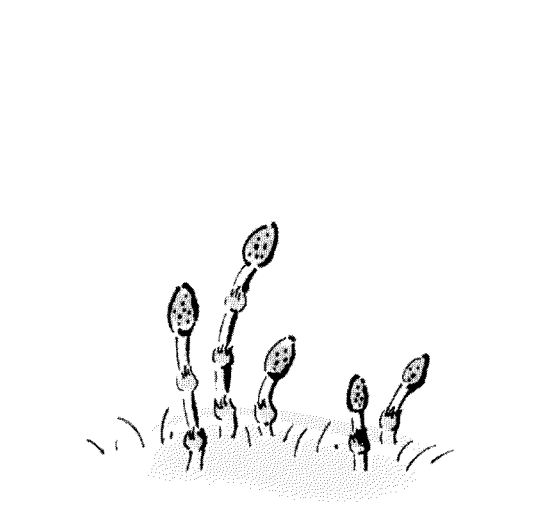
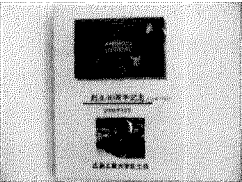
広土会創立40周年記念CD&DVDの残部が60部あります。記念祝賀会に参加できなかった会員の方で必要な方がいらっしゃれば下記にご連絡下さい。記念誌をCDに祝賀会の模様をDVDに納めています。1部6000円で販売します。

ただし、数に限りがございますので、メールでの先着順とさせていただきます。

必要な方は、メールの題名に「40周年記念CD&DVD希望」と書き、住所、氏名、及び卒業期を記入して送り下さい。

問い合わせはメールのみとさせていただきます。

kodokai@cc.it-hiroshima.ac.jp



ヒューマンコンシャス。
それがわたしたちの原点です。

MASUOKA

Architectural Contractors Inc.

株式会社 増岡組

本 社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 TEL 03-3284-9780
広島本店 〒730-0045 広島市中区観見町4-25 TEL 082-504-5050
呉 本 店 〒737-0051 呉 市 中 央 1 - 6 - 2 8 TEL 0823-21-1441
URL <http://www.masuoka-g.co.jp/>

洋々と 伸び伸びと 夢をかたちに

洋伸建設株式会社

代表取締役 大田満廣

本 社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 TEL (082) 511-4520
7-バンビュゲランド7F FAX (082) 511-4521

営業所 福山・呉・廿日市・三次・山口・宇部・四国・九州
事業所 黒嶽

道路埋設指針 建設大臣認定機壁

PCボックスカルバート ザ・ウォール (H=5.0m)

株式会社 マシノ

本 社	〒733-0822 広島市西区庚午中1-19-23	(082) 507-2757 (代)
東広島営業所	〒739-2312 東広島市豊栄町別府270	(082) 432-4132 (代)
福山支店	〒720-0805 福山市御門町2-5-39	(084) 925-8855 (代)
山口支店	〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1130	(083) 973-3533 (代)
山陰支店	〒695-0003 鳥取県江津市松川町下河戸188	(0855) 55-0124 (代)
本 店	〒699-5133 鳥取県益田市神田町口615	(0856) 25-2380 (代)
工 場	広島・江津・益田	